

令和2年度予算特集

未来創造戦略事業

81事業 73億6,248万円

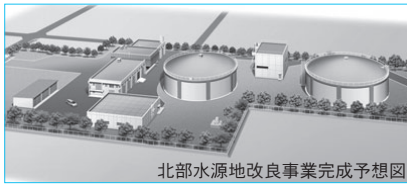
安心できるまちづくり

30事業 36億1,872万円

◇新庁舎建設事業・新庁舎関連事業…令和3年9月からの新庁舎の全部供用開始に向け、旧本庁舎解体や駐車場整備、シンボルモニュメントの設置などを行う

◇防災ハザードマップ作成事業…河川氾濫による浸水想定や地震の想定などを記載した「防災ガイドブック」の内容を最新情報に更新する

◇北部水源地改良事業…老朽化が著しい北部水源地の施設更新を行い、安定した給水体制を確保する



北部水源地改良事業完成予想図

楽しく子育てができるまちづくり

23事業 23億1,389万円

◇情報工房デジタルパーク事業…情報工房の交流サロンをリニューアルし、子どもたちがICTに触れ、遊び、学ぶ機会を充実する

◇学校業務改善事業（小中学校保護者連携システムの導入）…LINEアプリを活用して、保護者と学校間で欠席や遅刻などの連絡ができるシステムの導入など

新年度予算は、「大垣市未来ビジョン」に掲げる3つの未来創造戦略「安心できるまちづくり」「元気があるまちづくり」「楽しく子育てができるまちづくり」に重点的に予算を配分しました。

ここでは、新規事業を中心に各事業を紹介します。

◇通学路ブロック塀等撤去事業補助金…地震発生時における児童への被害を防止するため、通学路に面したブロック塀などの撤去費用の一部を助成する

◇放射線治療装置購入事業…市民病院における医療体制の充実を図るため、新たに放射線治療装置を購入する

ほか、後付け安全運転支援装置設置事業補助金、飼い主不明猫不妊去勢手術費補助事業、全国健康福祉祭ぎふ大会推進事業など

◇多胎家庭おでかけアシスタックシー事業…1歳未満の多胎児を養育する保護者にタクシーチケットを交付し、多胎児を連れてタクシーで外出する際の乗車料金の一部を助成する

◇保育園・幼稚園防災防犯対策事業…保育園・幼稚園・幼保園の防災防犯機能を強化するため、自家発電機や防犯カメラを設置する

ほか、子育て情報提供事業、親子バス利用支援事業、荒崎幼保園改築事業、プログラミング教育推進事業など



新庁舎完成を記念したシンボルモニュメント完成予想図

元気があるまちづくり

28事業 14億2,987万円

◇クールおおがき推進事業…本市の観光資源の魅力を高め、地域ブランド化に向けたさまざまな事業を展開する。戦国大垣3城再発見事業補助金、明智光秀プロモーション事業補助金、舞台のモデルの地プロモーション事業補助金など



◇戦略的中心市街地活性化推進事業…空き店舗への出店を支援するほか、東京オリンピックの開催に向けてランニングイベントFREE10を開催するなど、中心市街地のにぎわい創出を図る

◇先端技術活用事業…AIやRPAなどの先端技術の実証実験などを行うとともに、ビッグデータの活用について研究し、市民サービスの向上や内部業務の効率化を図る

◇学習館・文化会館長寿命化事業…生涯学習の中核施設である学習館・文化会館について、快適な施設環境を継続的に提供できるよう施設の長寿命化改修を実施する

◇十万石サミット事業補助金…関係自治体と連携し、城下町の特性を生かした歴史観光やまちづくりを推進するため、記念シンポジウムなどを開催する

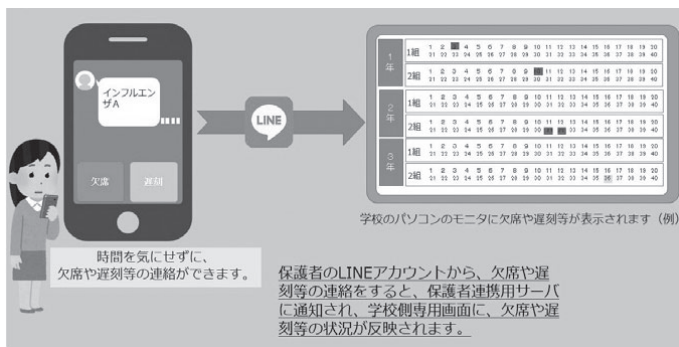


◇読書記録Webサービス事業…図書館情報総合管理システムと、民間が提供するWebサービス「読書メーター」を連携させて、パソコンやスマートフォンで、各個人が読んだ本を簡単に記録できるサービスを提供する

◇芸術文化振興事業…質の高い芸術文化に親しむことができるよう、著名なアーティストによるコンサートを開催するほか、次代を担う子どもたちの豊かな創造力を育むため、体験型・参加型のコンサートやワークショップを開催する

◇体育施設長寿命化事業…安全で快適な体育施設の利用環境を継続的に提供できるよう施設の長寿命化改修を実施する。総合体育館の第3体育館床改修、庭球場人工芝張替など

ほか、企業立地推進事業、担い手育成総合支援事業、公共緑地等整備事業、東京オリンピックアスリート応援事業など



小中学校で導入するLINEを使った連絡システムのイメージ図